

令和元年度実施事業 実施報告書

協働推進事業

※新型コロナウイルス市内感染まん延防止のため、実施報告会は開催を中止しました。

1 協働推進事業実績報告書

2 協働事業評価書

令和元年度に2年目として実施

行政提案型協働推進事業

事業名 : 茅ヶ崎公園体験学習センター「はまかぜ菜園」等管理運営事業

団体名 : 半農半xを楽しむ会

担当課名 : 青少年課体験学習センター

事業名 : 郷土資料デジタルライブラリー推進事業

団体名 : 特定非営利活動法人湘南ふじさわシニアネット

担当課名 : 図書館

令和元年度度実施協働推進事業 実施報告会 目次

令和元年度実施協働推進事業について————— 1

茅ヶ崎市市民活動推進委員会委員構成名簿————— 6

令和元年度に2年目として実施

行政提案型協働推進事業

1 茅ヶ崎公園体験学習センター「はまかぜ菜園」等管理運営事業————— 7

半農半xを楽しむ会・青少年課体験学習センター

2 郷土資料デジタルライブラリー推進事業————— 15

特定非営利活動法人湘南ふじさわシニアネット・図書館

令和元年度実施協働推進事業について

1 協働推進事業の評価の実施について

(1) 評価の目的

協働プロセス及び事業内容の視点から評価を行うことで、事業の成果を検証するとともに、取り組み過程等における改善点を抽出し、協働推進事業の発展を通じた協働によるまちづくりの推進を図ります。

また、評価結果の公表により、協働推進事業の透明性の向上と市民への説明責任を果たします。

(2) 評価対象事業

- ① 行政提案型協働推進事業
- ② 市民提案型協働推進事業

(3) 評価形態

協働推進事業の評価は、自己評価と第三者評価を基本とし、事業の性質に応じて、可能な限り受益者評価も取り入れます。

① 自己評価…実施団体と事業担当課による自己評価（中間評価・最終評価）

ア 中間評価（報告）

実施時期は、事業内容に応じて実施団体と事業担当課が事業開始前に決定する。ただし、事業期間が6ヶ月に満たない場合は、双方合意のうえで省略することができます。

イ 最終評価

事業終了後、4月を目途に自己評価を実施し、その後の実施報告会（一般公開）で市民活動推進委員会による第三者評価を受けます。

② 第三者評価…市民活動推進委員会による(1)の自己評価を受けての評価

（中間評価は、確認のみ（見守り、アドバイス）とする。）

③ 受益者評価…サービス利用者を対象としたアンケート等の実施による評価

（事業の性質に応じて、可能な限り実施する。）

(4) 評価の実施方法

① 評価の準備（事業開始前に行う。）

ア 実施団体と事業担当課が評価項目を確認し、協議のうえで成果目標を決定

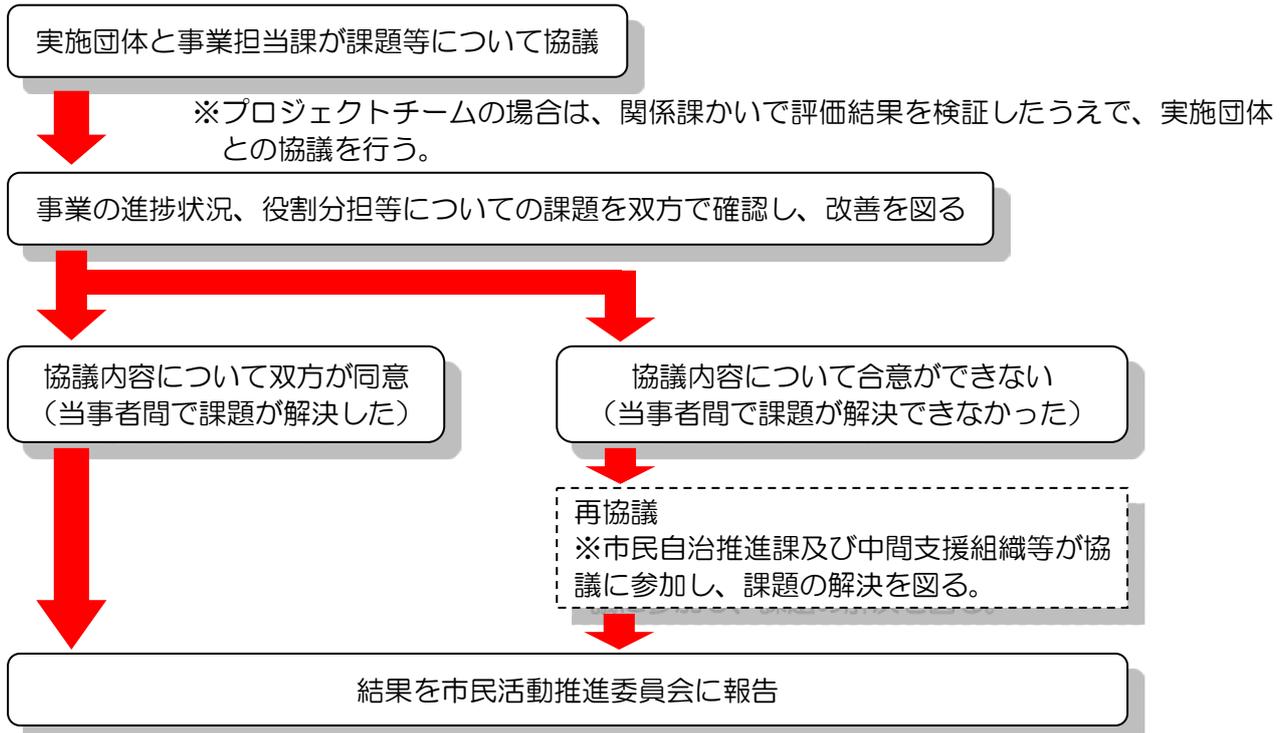
イ 中間評価の実施時期を決定

ウ 受益者評価（利用者アンケート等）の実施を検討

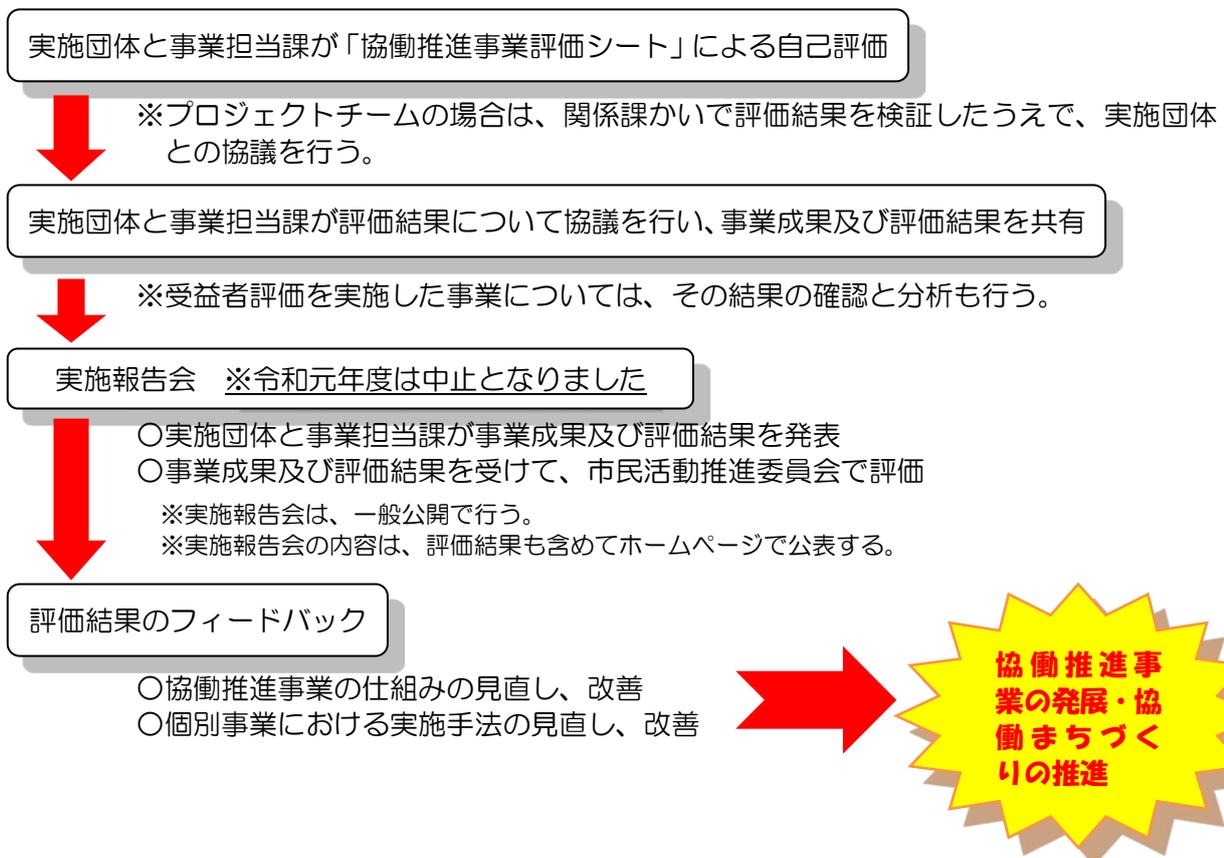
※プロジェクトチームの場合は、すべての関係課かいが参加する。

② 中間評価（報告）

「進捗状況」「今後のスケジュール」「課題等」を報告します。



③ 最終評価



(5) 当事者評価の評価項目

評価は、「協働プロセス」及び「事業内容」について実施します。

また、市民活動推進委員会の評価は、第三者評価としての視点から、市民活動団体及び担当課が実施した評価結果と実施報告会での発表を踏まえて実施します。

①協働プロセス評価

評価要素	着 眼 点
目的共有	・ 事業目的は共有できたか。 ・ 事業内容について十分な検討ができたか。
役割分担	・ 事業計画書で定めた役割分担は適切であったか。
対等性確保、相互理解	・ 上下関係ではなく、対等な形で意見交換、事業を行ったか。 ・ 十分な意思の疎通が図られたか。
自主性、自立性	・ お互いの立場、役割を尊重して事業を進められたか。
透明性、公開性	・ 事業に関する情報を広報紙、ホームページ等で公表したか。 ・ 事業の進捗に応じて、情報を速やかに更新できたか。
相乗効果	・ それぞれが得意とする部分（優れている部分）を事業に生かされたか。 ・ それぞれが単独で実施するよりも大きな効果が得られたか。

②事業内容評価

評価要素	着 眼 点
事業目的、目標達成度	・ 事業計画に記載した事業目的は達成できたか。 ・ 協働事業評価書で設定した成果目標は達成できたか。
事業スケジュール	・ 事業計画書のスケジュールどおりに実施できたか。
費用対効果	・ 投入した資源は適正であったか。 * 総事業費は予想どおりだったか、予想以上の支出があったか等により判断する。
事業手法の妥当性	・ この事業を協働で実施してよかったと思うか。 (理由も記入する。)
市民（受益者）満足度	・ サービスの受け手となる市民の意見の反映や情報収集に努めたか。 ・ 事業を実施したことによって、市民（受益者）満足度は高まったか。

(6) 市民活動推進委員会の評価項目

市民活動推進委員会の評価は、実施団体及び担当課の評価を受けて、協働プロセス及び事業内容についての意見を「協働推進事業評価票」シートに記入するとともに、次により5段階評価を行います。

① 協働プロセスについての意見及び評価

② 事業内容についての意見及び評価

③ 全体評価（協働のプロセス、事業内容を含めた全体に関する評価、今後に向けた意見等）

(7) 評価段階

市民活動推進委員会が行う「協働プロセス」「事業内容」についての評価は、5段階評価です。

評点	評価段階
5	事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った。
4	事業実施前の想定をやや良い方向に上回った。
3	事業実施前に想定した範囲の評価。
2	事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた。
1	事業実施前の想定より評価をはるかに低いと感じられた。

(8) 評価における市民活動推進委員会の役割

個々の事業実施結果及び当事者評価に対し、第三者的視点からの評価、助言を行うとともに、市の協働の取り組みの全体像を把握することで、今後の制度改善、より望ましい協働のあり方についての審議を効果的に進めます。

(9) 評価結果の活用

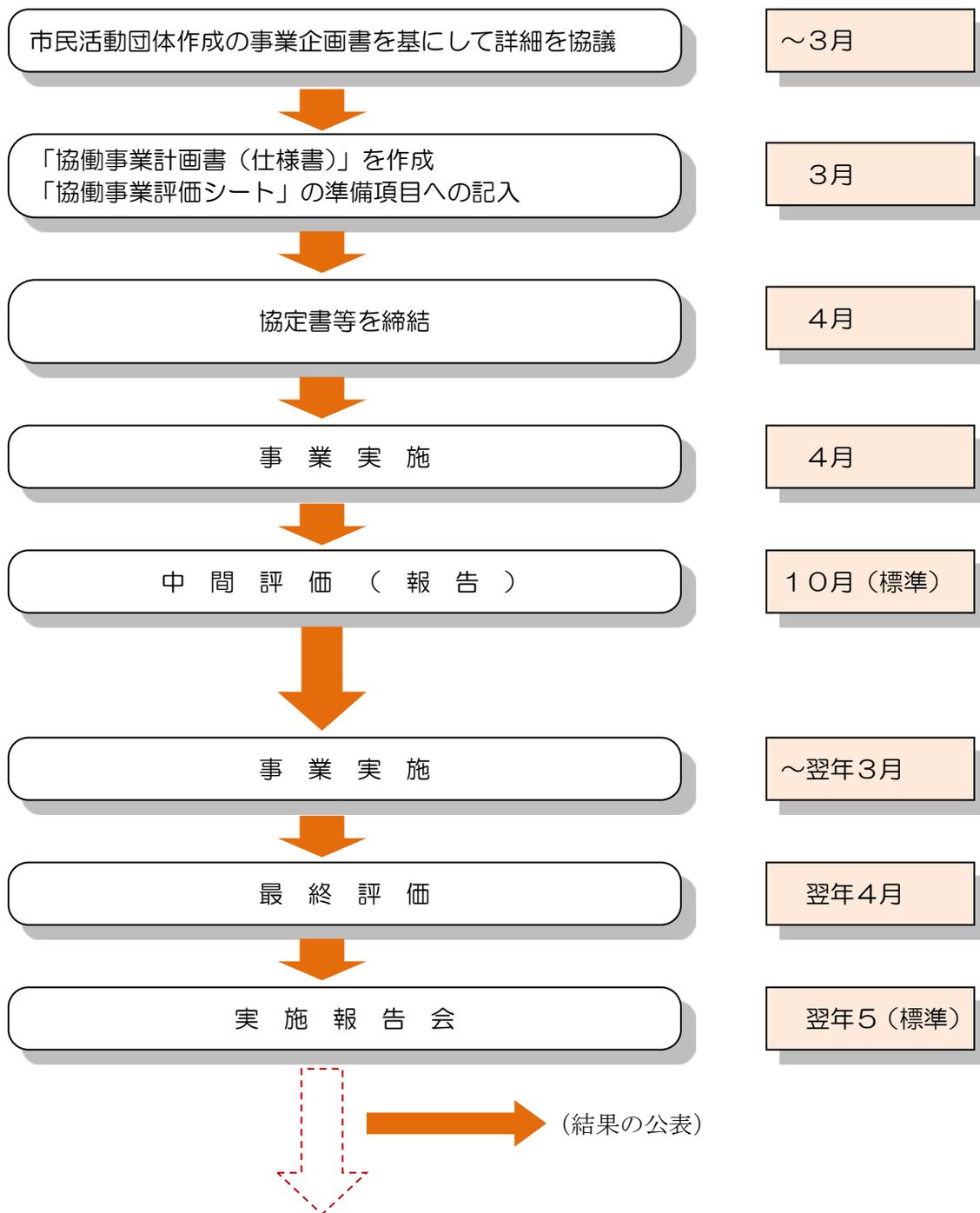
① 市民活動団体と担当課が共有し、事業の改善等に役立てます。

評価が高かった場合は、結果を分析したうえで、さらに高い効果を得るための方策を検討する。
評価が低かった場合は、目標を達成できなかった要因を明らかにし、事業に改善に役立てる。(事業の見直しを含む。)

② 市民自治推進課で一元管理を行い、協働の推進及び制度の改善に活用します。

評価項目等については、評価実施者の意見等を参考として、必要に応じて見直しを行う。

5 事業実施前の準備から評価までの流れ



評価結果は、市民自治推進課で一元管理し、制度改善、職員研修等に活用します。

茅ヶ崎市市民活動推進委員会委員構成名簿

令和元年6月13日現在

区分	委員名	所属
市 民	しば た はる な 柴 田 春 菜	公募
	すが わら すみ え 菅 原 澄 江	
	そめ や みち と 染 谷 倫 人	
市民活動を行う ものの代表者	なか の ゆう こ 中 野 有 子	茅ヶ崎市民活動サポートセンター長 特定非営利活動法人 NPO サポートちがさき
	はだ の たく や 秦 野 拓 也	特定非営利活動法人まちづくりスポット 茅ヶ崎事務局長
事業者の代表者	いし た き いち 石 田 貴 一	湘南信用金庫執行役員茅ヶ崎営業部部長
	たか はし じゅん じ 高 橋 準 治	株式会社タウンニュース社湘南支社長 兼 茅ヶ崎編集室編集長
	よね やま とも や 米 山 友 哉	公益社団法人茅ヶ崎青年会議所の代表
学識経験を 有する者	いわ かべ きかえ 岩 壁 榮	茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会の代表
	きた がわ てつ や 北 川 哲 也	行政書士事務所 Link-Up 代表
	なか がわ くみこ 中 川 久美子	元横浜市政策局政策支援センター主席研究員
	や しま ひろ ゆき 矢 島 啓 志	社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉協議会事務局長
	やま た しゅう じ 山 田 修 嗣	文教大学国際学部教授

行政提案型

1 茅ヶ崎公園体験学習センター「はまかせ菜園」等管理運営事業
(半農半Xを楽しむ会・青少年課体験学習センター)

協働推進事業実績報告書

令和2年4月30日

(あて先) 茅ヶ崎市長

所在地

提出者 名称 半農半Xを楽しむ会

代表者氏名 長谷 享 印

令和元年度行政提案型協働推進事業の実績について、次のとおり報告します。

事業の名称	茅ヶ崎公園体験学習センター「はまかぜ菜園」等管理運営事業
担当課名	青少年課体験学習センター
事業の内容等	別紙「協働推進事業実施結果」のとおり

※この実績報告書には、収支決算書及び最終評価（当事者評価後の協議を含む）終了後の協働事業評価書を添付してください。

協働推進事業実施結果

<p style="text-align: center;">事業の実施内容</p> <p>※できるだけ具体的に記入してください。</p>	<p>茅ヶ崎公園体験学習センターの2階テラスに位置するはまかぜ菜園（58㎡）を活用し、市民とともに菜園（ポタジェガーデン）を作る事業。多世代交流のできる講座を年間を通じて開催し、菜園に触れ合うことによる様々な効果をはかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 菜園づくり全般（通路、キーホール、スパイラルガーデン、その他の盛り土から形作りまで） ・ 野菜だけではなく、果樹やハーブ、花の移植等 ・ 野菜づくり講座と実践 ・ 木製プランターのDIYと土作りと栽培方法の実践 ・ 収穫と調理（料理方法の提供） ・ うみかぜテラス設計者による屋上庭園等についての講義 ・ その他身体の話など関連する勉強会 																
<p style="text-align: center;">事業の参加者等</p>	<p>小学生から若い主婦層、お年寄りまで幅広い年齢層の市民</p> <p>① 4～6月講座 延べ123名 ②7～9月講座 延べ81名 ③ 10～12月講座 延べ58名 計 延べ262名</p>																
<p style="text-align: center;">実施日程等</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 15%;">月</th> <th style="width: 35%;">水曜コース</th> <th style="width: 35%;">日曜コース</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">第3弾 (菜園づくり)</td> <td style="text-align: center;">4～6月</td> <td style="text-align: center;">5日間 (4/24,5/8,5/22,6/12,6/26)</td> <td style="text-align: center;">5日間 (4/21,5/19,6/2,6/16,6/30)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">第4弾 (収穫と調理)</td> <td style="text-align: center;">7～9月</td> <td style="text-align: center;">4日間 (7/17,8/7,9/4,9/25)</td> <td style="text-align: center;">4日間 (7/21,8/4,9/8,9/29)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">第5弾 (秋冬編)</td> <td style="text-align: center;">10～12月</td> <td style="text-align: center;">3日間 (10/16,11/13,12/4)</td> <td style="text-align: center;">3日間（1日中止） 10/13(中止) 11/3,12/8</td> </tr> </tbody> </table>		月	水曜コース	日曜コース	第3弾 (菜園づくり)	4～6月	5日間 (4/24,5/8,5/22,6/12,6/26)	5日間 (4/21,5/19,6/2,6/16,6/30)	第4弾 (収穫と調理)	7～9月	4日間 (7/17,8/7,9/4,9/25)	4日間 (7/21,8/4,9/8,9/29)	第5弾 (秋冬編)	10～12月	3日間 (10/16,11/13,12/4)	3日間（1日中止） 10/13(中止) 11/3,12/8
	月	水曜コース	日曜コース														
第3弾 (菜園づくり)	4～6月	5日間 (4/24,5/8,5/22,6/12,6/26)	5日間 (4/21,5/19,6/2,6/16,6/30)														
第4弾 (収穫と調理)	7～9月	4日間 (7/17,8/7,9/4,9/25)	4日間 (7/21,8/4,9/8,9/29)														
第5弾 (秋冬編)	10～12月	3日間 (10/16,11/13,12/4)	3日間（1日中止） 10/13(中止) 11/3,12/8														

**茅ヶ崎公園体験学習施設「はまかぜ菜園」等管理運営事業
令和元年度収支決算書**

協働推進事業費
(総事業費) 809,000 円

(収 入) (円単位)

区 分	当初予算額	決算額	内訳 (内容、数量、単価など)
A 委託料または負担金の額	654,000	654,000	協働推進事業負担金
B 参加者負担額	160,000	155,000	2500円 x27名、2000円 x27名、1500円 x17名、1000円 x8名
C			
D			
E 収入合計額 (A+B+C+D)	814,000	809,000	

※収入欄には、市の支出金のほか、参加費、寄附金等の収入を記入して下さい。

(支 出) (円単位)

区 分	当初予算額	決算額	内訳 (内容、数量、単価など)
F 人件費	528,000	438,000	別紙参照
G 謝金	0	20,000	プリンター製造謝礼 (2回)
H 旅費交通費	12,000	21,000	農機具、資材、種苗等運搬費 1回 500円 x42回
I 通信運搬費	4,000	0	
J 印刷製本費	116,000	40,000	コピー代 10円 x4000枚
K 消耗品費	70,000	260,000円	種苗費 194,000円、木材等 35,000円、農機具等 25,000円、筆記用具 4,000円、その他 2,000円
L 賃借料			
M 一般管理費	57,000	30,000	直接事業費
N 保険料	27,000	0	
N 支出合計額 (FからMまで)	814,000	809,000	

協働事業評価書

事業名	茅ヶ崎公園体験学習センター「はまかせ菜園」等管理運営事業
団体名	半農半xを楽しむ会
担当課名	青少年課体験学習センター

目標の設定

事業実施前に、事業の実施により達成する目標や、受益者評価の目標を設定してください。

成果目標 各項目については、実施団体と担当課が協議の上で決定してください。

目標とする成果（何がどう変化することを目指すのかを記入してください。）

平成30年度に行った事業の中で作り上げた庭園をベースにポタジェガーデンを作り上げる作業を進め、参加者には年間を通じて継続して参加していただきながら土や植物に触れる機会を提供するとともに、参加者や来館者に新たな気づきや楽しさの発見につながる機会を提供し、生きがいづくりやあらゆる世代の交流を促進する。また、本事業の情報発信を積極的に行うことで新施設の魅力向上につなげる。

活動指標（サービスやイベントなどの実施内容）	対象者等	目標値	結果
基礎講座、土作り、種まき等の実践講座	子どもから高齢者まで幅広い世代	12回	24回

受益者評価の目標値

評価手法	対象者等	目標値
フィードバック調査（アンケート・ヒアリング）	参加者	満足度 80%以上 →結果 77.8%

受益者評価ができない場合、その理由を記入してください。

--

中間評価

中間評価

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安



- 5点・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
- 4点・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
- 3点・事業実施前に想定した範囲の評価であった
- 2点・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
- 1点・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
1. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができていますか	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入

事業内容の評価

事業の進捗状況	評価点数・団体	評価点数・行政
2. 事業は計画通りに進捗していますか	4 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入
1点及び2点と評価した場合、理由を記入してください→	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
3. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	それぞれの得意を生かし合うことができたから。 ↑コメントを記入してください	協働事業者の専門的知識や技術を生かしながら事業を進めることができていたため。 ↑コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 事業を実施する事により市民の満足度を高めることができそうと感じますか	3 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	今回の講習で、たくさんの方々が愛着を持って、菜園に接して来られた。 ↑コメントを記入してください	利用者は楽しく自主性を持って本講座に参加いただいております、継続していただける方も多く、満足いただけていると実感しているため。 ↑コメントを記入してください

期末評価

期末評価について

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安



- 5点・・・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
- 4点・・・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
- 3点・・・事業実施前に想定した範囲の評価であった
- 2点・・・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
- 1点・・・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

目的共有	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業内容は共有できましたか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入
役割分担	評価点数・団体	評価点数・行政
2. 協定書で定めた役割分担は適正でしたか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入
対等性と相互理解	評価点数・団体	評価点数・行政
3. 対等な関係で意見交換や事業を推進することができましたか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入
自主性と自立性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 互いの立場、役割を理解して事業を進めることができましたか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入
透明性と公開性	評価点数・団体	評価点数・行政
5. 事業に関する情報を広く公開し、事業の状況を周知することができましたか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入
相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
6. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができましたか	3 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入
協働プロセスの総合評価	評価点数・団体	評価点数・行政
7. 1～6の視点で、協働プロセスを総合的に評価してください	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入
最終評価	B 左のA～Eを記入	A:十分達成できた B:ほぼ達成できた C:課題も残ったが概ね達成できた D:あまり達成できなかった E:ほとんど達成できなかった
最終評価の理由や根拠などを記入してください	(半農半Xの会)それぞれの役割を担いながら集客から講習・作業等を円滑に進めることができた。(市)市と市内事業者との協働という形で市のできること、協働事業者のできることをお互い話し合いながら進めることができたと考える。年度末には新型コロナウイルスによる臨時休館等の理由から予定通りの事業を行うことはできなかったが、協働事業終了後の運営についての意見交換や市内事業者とのネットワークづくり等、今後の施設運営運営についてのヒントを得ることができた。	

事業内容の評価

事業目的目標達成度	評価点数・団体	評価点数・行政
	1. 事業計画に記載した事業目的は達成できましたか	3 ↑ 1点から5点を記入
2. 評価書で設定した成果目標は達成できましたか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入

事業スケジュール	評価点数・団体	評価点数・行政
	3. 事業計画書のスケジュールどおりに実施できましたか	3 ↑ 1点から5点を記入

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
	4. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	3 ↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	広く市民の皆さんに広報できたり施設設計者との交流ができたりと、より広く深くコンテンツを提供することができた。 ↑コメントを記入してください	うみかぜテラスの開館事業として、設計の段階からスタートまでを市だけで行うのではなく、市内事業者も参加しながら施設運営に携わってもらった形が作れたため。 ↑コメントを記入してください

市民(受益者)満足度	評価点数・団体	評価点数・行政
	5. サービスの受け手となる市民のニーズや意見、その他情報収集に努めましたか	3 ↑ 1点から5点を記入
6. 事業を実施した事により市民満足度は高まったと感じますか	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	野菜作りだけではなく様々な植物を楽しく綺麗に作ることを学べたり、新しい仲間ができたことも満足につながると思う。 ↑コメントを記入してください	単に菜園の事業を学ぶだけでなく、参加者同士の交流の場として1年間という長いタームで参加していただいたため。 ↑コメントを記入してください

事業内容の総合評価	評価点数・団体	評価点数・行政
	7. 1～6の視点で、事業内容を総合的に評価してください	3 ↑ 1点から5点を記入

予算の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
	8. 事業を進める上、当初設定した予算は、想定よりも有効に活用されたと感じますか	3 ↑ 1点から5点を記入

最終評価	C	
	最終評価の理由を記入してください	A:十分達成できた B:ほぼ達成できた C:課題も残ったが概ね達成できた D:あまり達成できなかった E:ほとんど達成できなかった (半農半Xの会)何も無い状態から木を切ったり色を塗ったり、石を並べたり穴を掘ったり、プランターを作ったりとDIYを組み合わせたしながら、野菜の作り方だけではなく菜園作りの楽しさや、それを収穫して調理して味わう楽しさなど、単調な畑を様々な角度でコンテンツを乗せることで複合的な学びや楽しさを提供できた。多くの方が年間を通じて参加され、この先を担えるコミュニティづくりにも貢献できた。 (市)うみかぜテラスのオープニングの看板事業として、1年間はまかせ菜園とじっくり向き合い、参加者と様々な形での交流ができた。参加者は年間を通じてリピーターとなっていた方が多く、交換日記形式の観察ノートやSNS等利用者同士で菜園を通じたつながりを作っていた。台風などで何度か作物の被害を受けた菜園を立て直したり、菜園で採れた作物を使って調理室で調理し、地元の大工さんの協力によりプランターづくりを行うなどの交流を促進することができた。課題としては、年間を通じた事業を行ったため、利用者のモチベーションの維持が難しく回を重ねるごとに高い満足度の維持が困難になったという点や、次年度以降の菜園の活用方法についてなどが懸案事項として残った。

行政提案型 2 郷土資料デジタルライブラリー推進事業
(特定非営利活動法人湘南ふじさわシニアネット・図書館)

協働推進事業実績報告書

令和2年3月31日

(あて先) 茅ヶ崎市長

所在地

提出者 名称 特定非営利活動法人湘南ふじさわシニアネット
代表者氏名 代表理事 小林 信武



令和元年度行政提案型協働推進事業の実績について、次のとおり報告します。

事業の名称	郷土資料デジタルライブラリー推進事業
担当課名	茅ヶ崎市立図書館
事業の内容等	別紙「協働推進事業実施結果」のとおり

※この実績報告書には、収支決算書及び最終評価（当事者評価後の協議を含む）終了後の協働事業評価書を添付してください。

協働推進事業実施結果

<p style="text-align: center;">事業の実施内容</p> <p>※できるだけ具体的に記入してください。</p>	<p>本事業は、図書館の郷土資料などの貴重な資料の活用について、協働で事業を実施することにより、資料のデジタル化やインターネット上での公開により資料の保存と利用を両立させるという事業目的で実施した。</p> <p>実施内容</p> <p>(1) 追加してデジタル化する資料の選定および選定資料のデジタル化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月24日 関係者（文化生涯学習課、学校教育指導課、教育センター、社会教育課）との合同会議開催、意見交換 ・各イベントに向けて 関係資料を選定 ・上記で選定した資料をスキャンしてデジタル化 <p>(2) デジタル化した資料を保存・閲覧するためのホームページの強化・運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度構築したデジタルライブラリーホームページを、より見やすくするなど改良するとともに運用 <p>(3) デジタル化した資料を活用したイベントの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月23日 「小学生向け夏休み自由研究応援講座」開催、参加者19組の親子 ・10月31日 「デジタルライブラリーをみて茅ヶ崎の昔 “南湖院みち” を歩く」開催（ちがさき丸ごとふるさと発見博物館友の会に協力いただく）、参加者 18名 ・12月5日 「デジタルライブラリーと民話劇がコラボ 茅ヶ崎のむかしをプレーバック」開催（茅ヶ崎民話の会、茅ヶ崎太陽の郷に協力いただく）、参加者 34名 ・3月1日 「これからのデジタルアーカイブを考える」開催準備はほぼ完了していたが、新型コロナウイルス問題で中止の止むなきに至る。（慶應義塾大学文学部、東京大学大学院情報学環に協力をいただく）、参加予定者35名以上 <p>(4) その他上記業務に関連、付随する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト管理 ・各種広報活動 ・広報ちがさき ・メディアへのプレスリリース ・各市民団体等関心をもつ市民へちらし配布
<p style="text-align: center;">事業の参加者等</p>	<p>茅ヶ崎市教育推進部図書館 小原、太田、石津（5月まで） 湘南ふじさわシニアネット 影浦、小林、山本、瀬下、泉二、板津</p>

<p>実施日程等</p>	<p>平成31年4月～令和元年6月 全体企画、イベント企画、本年度のデジタル化資料選定</p> <p>平成31年4月24日 関係者（文化生涯学習課、学校教育指導課、教育センター、社会教育課）との合同会議開催、意見交換</p> <p>令和元年2月～令和2年3月 イベント準備（協力者、関係者と打合せを含む）とイベント開催、事後処理（アンケート分析など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年7月23日 「小学生向け夏休み自由研究応援講座」開催 ・令和元年10月31日 「デジタルライブラリーをみて茅ヶ崎の昔 “南湖院みち” を歩く」開催 ・令和元年12月5日 「デジタルライブラリーと民話劇がコラボ 茅ヶ崎のむかしをプレーバック」開催 ・令和2年3月1日 「これからのデジタルアーカイブを考える」開催準備はほぼ完了していたが、新型コロナウイルス問題で中止の止むなきに至る。 <p>通年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定された郷土資料のスキャンとデジタル化 ・ホームページの改良と運用 <p>令和2年3月 評価書作成、実績報告書の作成</p> <p>平成31年4月～令和2年3月</p> <p>毎月の定例会議でのプロジェクト管理</p> <p>4月9日、5月9日、6月12日、7月13日、8月15日、 9月11日、10月16日、11月12日、12月18日、 1月29日、3月22日</p>
--------------	--

収支決算書

協働推進事業費

(総事業費)

1,383,000 円

(収 入)

(円単位)

区 分	当初予算額	決算額	内訳 (内容、数量、単価など)
A 委託料または負担金の額	1,383,000	1,383,000	市の支出金
B		△40,000	シンポジウム戻入に伴う
C			
D			
E 収入合計額 (A+B+C+D)	1,383,000	1,343,000	

※収入欄には、市の支出金のほか、参加費、寄附金等の収入を記入して下さい。

(支 出)

(円単位)

区 分	当初予算額	決算額	内訳 (内容、数量、単価など)
F 人件費	999,000	1,151,820	プロジェクト管理 82 工数×1620 円=132,840 円 企画 (デジタル化資料選定を含む) 121 工数×1620 円=196,020 円 イベント企画 106 工数×1620 円=171,720 円、 イベント運営 49 工数×1080 円=52,920 円 イベントちらし作成 83 工数×1620 円=134,460 円 資料スキャン 206 工数×1080 円=222,480 円 ホームページ運用 149 工数×1620 円=241,380 円
G 謝金	130,000	50,000	会議・イベント出席謝礼 5 回×10,000 円=50,000 円 (講演 1 人×2 時間×20000 円=40,000 円は戻入)
H 旅費交通費	44,000	66,621	プロジェクト管理 12,586 円 その他 54,035 円
I 通信運搬費		2,208	郵便料 (シンポジウム中止に伴い発生) 2,208 円
J 印刷製本費	30,000	21,190	イベントちらし 18,360 円 イベント配布資料印刷 2,830 円
K 消耗品費	18,000	23,827	プリンターインク代 19,859 円、 用紙代など 3,968 円

L 賃借料	38,000	13,769	サーバー・ドメイン・ソフトウェア代 13,769 円
M 一般管理費	124,000	13,565	上記合計 1,329,435 円の約 1%
N 支出合計額 (F から M まで)	1,383,000	1,343,000	

協働事業評価書

事業名	郷土資料デジタルライブラリー推進事業
団体名	特定非営利活動法人湘南ふじさわシニアネット
担当課名	教育推進部図書館

目標の設定

事業実施前に、事業の実施により達成する目標や、受益者評価の目標を設定してください

成果目標

各項目については、実施団体と担当課が協議の上で決定してください。

目標とする成果（何がどう変化することを目指すのかを記入してください。）

郷土資料など貴重な資料をデジタル化し、インターネット上で公開することにより、資料の保存と利用を両立させる。利用者はどこにいても来館者と同様のサービスが受けられる。
更に、郷土資料の収集・保存・利用を通じて、茅ヶ崎市の文化を守り育て、地域におけるさまざまな学びを発展させていく。
本年度は、前年度に引き続き、デジタルライブラリーの一層の充実を図るとともに、市民の皆様との協力を進める。

活動指標(サービスやイベントなどの実施内容)	対象者等	目標値	結果
<ul style="list-style-type: none"> デジタル化する資料 デジタル化した資料を保存するためのホームページの強化・運営 イベント 4回開催 	茅ヶ崎市民	300枚以上 強化・運営 4回	487枚 通年に強化・運営 3回(注 第4回の3月1日開催予定であったシンポジウムは、企画集客等の準備が出来ていたが、新型コロナウイルスの問題で中止となった。)

受益者評価の目標値

評価手法	対象者等	目標値
イベント参加者へのアンケート調査	参加市民	アンケートで“良かった”の評価が70%以上
<ul style="list-style-type: none"> 7月23日 小学生向け夏休み自由研究応援講座 10月31日 茅ヶ崎の昔“南湖院みち”を歩く 12月5日 茅ヶ崎のむかしプレーバック 	茅ヶ崎市小学生親子 茅ヶ崎市民 茅ヶ崎市民	良かった 88%、まあ良かった 22% 良かった 85%、まあ良かった 6% 良かった 66%、まあ良かった 26% (まあ良かったまで含めると毎回90%以上)

受益者評価ができない場合、その理由を記入してください。

--

中間評価

中間評価

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安



- 5点・・・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
- 4点・・・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
- 3点・・・事業実施前に想定した範囲の評価であった
- 2点・・・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
- 1点・・・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
1. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができていますか	5 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入

事業内容の評価

事業の進捗状況	評価点数・団体	評価点数・行政
2. 事業は計画通りに進捗しているか	4 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入
1点及び2点と評価した場合、理由を記入してください→	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
3. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	図書館と湘南ふじさわシニアネットで、得意分野を分担して実施して、高い成果を挙げている。	イベントの企画・実施にあたっては、団体同士の連携と行政内の連携、それぞれの強みを生かして進めることができ、協働という事業手法の有用性を感じている。
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 事業を実施する事により市民の満足度は高めることができそうと感じますか	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	これまで実施した「小学生向け夏休み自由研究応援講座」で参加者全員が、「良かった」以上を回答	7月実施のイベントで「良かった」88%、「まあ良かった」12%の回答を得た。また、10月実施のイベントも受付開始5日で定員に達したため、市民ニーズに合った企画ができたと感じている。
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

期末評価

期末評価について

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安



- 5点・・・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
- 4点・・・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
- 3点・・・事業実施前に想定した範囲の評価であった
- 2点・・・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
- 1点・・・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

目的共有	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業内容は共有できましたか	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入
役割分担	評価点数・団体	評価点数・行政
2. 協定書で定めた役割分担は適正でしたか	5 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入
対等性と相互理解	評価点数・団体	評価点数・行政
3. 対等な関係で意見交換や事業を推進することができましたか	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入
自主性と自立性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 互いの立場、役割を理解して事業を進めることができましたか	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入
透明性と公開性	評価点数・団体	評価点数・行政
5. 事業に関する情報を広く公開し、事業の状況を周知することができましたか	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入
相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
6. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができましたか	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入
協働プロセスの総合評価	評価点数・団体	評価点数・行政
7. 1～6の視点で、協働プロセスを総合的に評価してください	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入
最終評価	A 左のA～Eを記入	A:十分達成できた B:ほぼ達成できた C:課題も残ったが概ね達成できた D:あまり達成できなかった E:ほとんど達成できなかった
最終評価の理由や根拠などを記入してください	最後のイベント「これからのデジタルアーカイブを考える」が、新型コロナウイルスの関係で中止になったのが残念である。しかし、資料のデジタル化は1年目を上回るコマ数となり、デジタルライブラリーを活用したイベント参加者の満足度も高いものとなった。成果目標は十分達成でき、受益者評価も高いものであったと考えている。	

事業内容の評価

事業目的目標達成度	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業計画に記載した事業目的は達成できましたか	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入
2. 評価書で設定した成果目標は達成できましたか	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入

事業スケジュール	評価点数・団体	評価点数・行政
3. 事業計画書のスケジュールどおりに実施できましたか	4 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	図書館は郷土資料を所持しており、団体は専門性の保持や大学との関係がある。単独ではこの事業は出来ない。 ↑コメントを記入してください	市民を巻き込むイベントの開催ができ、団体が持つネットワークにより、専門家の協力を得ることができた。協働という手法の強みを生かした事業になったと感じている。 ↑コメントを記入してください

市民(受益者)満足度	評価点数・団体	評価点数・行政
5. サービスの受け手となる市民のニーズや意見、その他情報収集に努めましたか	4 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入
6. 事業を実施した事により市民満足度は高まったと感じますか	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	イベントに参加していただいた参加者の皆さんから高い評価をいただいた。他の団体からもご協力いただいた。 ↑コメントを記入してください	郷土研究を行う団体との連携を深める、他自治体の状況を調査する等、積極的に情報収集を行っていただいた。 ↑コメントを記入してください

事業内容の総合評価	評価点数・団体	評価点数・行政
7. 1～6の視点で、事業内容を総合的に評価してください	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入

予算の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
8. 事業を進める上、当初設定した予算は、想定よりも有効に活用されたと感じますか	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入

最終評価	A 左のA～Eを記入	A:十分達成できた B:ほぼ達成できた C:課題も残ったが概ね達成できた D:あまり達成できなかった E:ほとんど達成できなかった
最終評価の理由を記入してください	この事業は、今後とも継続しなければならないが、協働推進事業としては、今年度で終了となる。事業をきっかけとして団体・個人と図書館の新たな繋がりが生まれたことは、大きな収穫である。また、郷土資料のデジタル化と公開、活用をセットにして協働という手法で取り組めたことは大変意義深いと考えている。著作権に関することやデジタル資料活用の裾野を広げることは、全国的にも課題となっており、引き続き取り組むべきことと認識しているが、2年間で目指す目標は、想定を上回って十分達成できたと考えている。	

